



佛事の常識・非常識



Q:実家の仏壇と婚家の仏壇とを同じ家にお祀りして大丈夫なのですか？A:大丈夫です。

市町村は合併し、小学校も次から次へと統合される今日この頃です。各ご家庭でもご先祖同士の合併・統合という問題が起きてくるのは必然的なのです。その象徴的な質問が上のようなものです。ところが、「同じ家に違う姓の仏壇があると、ご先祖同士がケンカをするのでないか」とか「仏壇の中に、違う姓のご先祖を入れるとケンカするかもしれない」などと、まことしやかにささやかれます。冷静に考えれば、ご先祖同士がケンカしたところを目撃した方は誰もいないはず。にもかかわらずそう言うのは、おそらく生前から、違う姓の方を私たちが嫌っているからではないでしょうか？だとしたら、こんな悲しいことはないですね。だからこそ姓の違いによって分け隔てをしない阿弥陀様をご本尊として頂く仏壇が必要なのです。自分とは異質なものを排除する生理が働く人間だからこそ、どんな分け隔ても決してしない阿弥陀様によって間違いなく結び付けられているのです。「一切の有情は皆もって世々生々の父母兄弟なり(歎異抄)」ご先祖同士を一緒にお祀りできない道理などありません。

寺ともさん・ごぼれ話

寺ともさんとの出会いもあれば別れもあります。こんなお便りが届きました。「長い間本当にお世話になり、ありがとうございました。催しも楽しかったですし、私一人おしゃべりしていたようで、この私でもウツになった時もあったのですよ。でもお寺に行き、住職さんや奥さんに会うと癒されて又頑張ろうと、いろよくしていただき、ありがとうございました。高松を離れるのは本当に寂しいのですよ。でも老いては子に従えという通りですね。又帰ってきます仏様に会いに～」と。あなたとの別れは本当に私も寂しいです。私たちの存在が「癒し」や「元気」につながっていたとは思ってもいませんでした。お会いできたことを幸せに思います。最近、一人暮らしの年配の方が増えて、都会の子供さんのもとで一緒に暮らしはじめる方が時々いらっしゃいます。それは大変賢明な判断だと思います。しかし、事情が許さない方もたくさんいらっしゃるでしょう。「最後まで香川で、高松で暮らす」という多くの方にとって、徳成寺がほんの少しでも「癒し」や「元気」になればと思います。

名前：ロビン
性別：♂
お年：9歳
種類：ミニチュアダックス
好物：ささみ・ジャーキー
苦手：よその犬・雷
住所：林さん宅(高松市)
性格：わがまま

ご自慢のペットちゃん



ペットちゃんを募集しています

エピソード：徳島にいる子どもさんの友達が飼えないからと、預けに来たのがロビンちゃんです。当時から名前はロビンちゃんでした。柴犬は大嫌いだけど、近所にいる同じミニチュアの「カイくん」とは大の仲良しです。犬なのに椎間板ヘルニアを患ったロビンは、それ以来家族のみんなに大事にされ、抱いてトイレに連れて行ったらそれ以来図に乗ってしまいました。今では林さんが主人なのか、ロビンが主人なのか分からないそうです。参りましたね☆

NHK 高松放送ゆうどき香川 610「とれとれマイビデオ」



6/2夕方6時47分放送

5月の「パーベキューとジャズライブ」がNHK高松に取り上げられました。担当のアナウンサーからは「ジャズコンサートのアップがあれば、もっと良かったと思いました」というアドバイスを頂きました。恐れ入りました。

おまけ

私たちの日々の生活を綴るブログ、「DANGO 3兄妹」が10000アクセスを突破しました。皆様のおかげです、ありがとうございます。詳しくはwebで！
<http://d.hatena.ne.jp/dango33/>
@かわら版不要の方は恐れ入りますが087-821-6348へご連絡を。